



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	111,422	△7.4	12,392	4.5	12,966	6.1	8,414	7.8
28年3月期第3四半期	120,323	12.0	11,859	31.7	12,222	26.7	7,807	33.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 7,044百万円 (3.6%) 28年3月期第3四半期 6,797百万円 (△35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	73.93	73.62
28年3月期第3四半期	68.69	68.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	175,638	116,282	65.7
28年3月期	179,573	111,271	61.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 115,330百万円 28年3月期 110,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,500	△9.9	13,100	△16.5	13,400	△12.6	7,500	△17.6	65.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	117,936,284株	28年3月期	117,929,250株
29年3月期3Q	4,035,636株	28年3月期	4,187,266株
29年3月期3Q	113,815,171株	28年3月期3Q	113,653,436株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 自己株式数には、従業員持株ESOP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数 29年3月期3Q 16,900株、28年3月期 168,600株)が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が継続し、11月には米国大統領選挙後に株価が回復するなどの動きが見られたものの、中国をはじめとする世界経済の減速懸念、英国のEU離脱問題など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,114億2千2百万円（前年同期比 7.4%減）となりました。日本において秋冬もの商品が堅調でありましたが、海外におきましては円高による為替換算の影響に加え、アジアでは中国経済の減速による減収が大きく影響しました。

利益面につきましては、減収となったことに加え、新規分野への先行投資が継続しているものの、販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は123億9千2百万円（同 4.5%増）、経常利益は129億6千6百万円（同 6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84億1千4百万円（同 7.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、719億7千5百万円（前年同期比 0.1%減）となりました。

主力のアイケア関連品は、新製品の「Vロートプレミアム」が順調なことに加え、コンタクトレンズ関連も堅調に推移いたしました。また、スキンケア関連品は、競争激化が続く「肌ラボ」シリーズが減収となったものの、秋冬もののスキンケア関連品や男性用デオドラントブランド「デ・オウ」が堅調なことに加え「メラノCC 薬用しみ集中対策美容液」などインバウンド需要に伴う売上も順調でありました。さらに、内服・食品関連品も漢方ブランド「和漢箋」から女性の悩みに応える新シリーズ「ツラレス」などが発売され、売上に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、研究開発費など新規分野への先行投資があるものの、その他の販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、80億8千7百万円（同 5.2%増）となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、48億円（前年同期比 19.2%減）となりました。

円高による為替換算の影響に加え、主力のリップクリームや競争激化が続く「オキシシー」が伸び悩みました。一方、目薬については堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、1億7千7百万円の損失（前年同期のセグメント損失は6億6千6百万円）と改善しました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、53億2千9百万円（前年同期比 14.6%減）となりました。

ヨーロッパにおきましては、消炎鎮痛剤「ディーブヒート」シリーズが堅調に推移したことや平成26年6月に取得したダクス・コスメティクス社が順調であったことにより、現地通貨ベースでは増収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、3億2千6百万円（同 7.1%減）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、278億4千6百万円（前年同期比 19.2%減）となりました。

ベトナムやインドネシアなどアセアン諸国は好調に推移しているものの、中国において経済環境の悪化や競争激化により減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたものの、売上が伸び悩んだことにより、40億8千8百万円（同 0.3%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、14億7千万円（前年同期比 9.2%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、8千1百万円（同 40.2%減）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は1,756億3千8百万円となり、前連結会計年度末より39億3千5百万円減少いたしました。これは、投資有価証券が47億1千4百万円、商品及び製品が19億3千8百万円、現金及び預金が18億3千3百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が58億1千1百万円、電子記録債権が50億9千8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は593億5千5百万円となり、前連結会計年度末より89億4千5百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が8億7百万円、長期借入金が8億2百万円それぞれ増加した一方、未払費用が64億1千6百万円、未払法人税等が19億9千3百万円、賞与引当金が11億9千9百万円、短期借入金が9億3千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,162億8千2百万円となり、前連結会計年度末より50億1千万円増加いたしました。これは、利益剰余金が61億3千6百万円増加した一方、為替換算調整勘定が24億1千2百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,073	24,907
受取手形及び売掛金	37,327	31,515
電子記録債権	11,654	6,555
商品及び製品	13,241	15,179
仕掛品	2,260	2,392
原材料及び貯蔵品	7,534	7,953
その他	6,817	7,596
貸倒引当金	△157	△222
流動資産合計	101,752	95,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,322	20,522
その他（純額）	26,717	25,751
有形固定資産合計	48,040	46,274
無形固定資産		
のれん	1,130	850
その他	2,372	1,917
無形固定資産合計	3,502	2,768
投資その他の資産		
投資有価証券	21,405	26,120
その他	6,558	6,748
貸倒引当金	△1,686	△2,152
投資その他の資産合計	26,277	30,716
固定資産合計	77,821	79,758
資産合計	179,573	175,638
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,796	10,604
電子記録債務	2,559	2,392
短期借入金	4,452	3,515
未払費用	27,280	20,864
未払法人税等	3,645	1,651
賞与引当金	2,064	864
役員賞与引当金	30	22
返品調整引当金	1,239	810
売上割戻引当金	2,290	2,090
その他	5,999	6,554
流動負債合計	59,357	49,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
固定負債		
長期借入金	994	1,796
退職給付に係る負債	5,381	5,159
その他	2,568	3,030
固定負債合計	8,944	9,986
負債合計	68,301	59,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,411	6,415
資本剰余金	5,738	5,742
利益剰余金	98,675	104,811
自己株式	△5,207	△4,962
株主資本合計	105,618	112,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,438	6,422
為替換算調整勘定	1,296	△1,116
退職給付に係る調整累計額	△2,113	△1,984
その他の包括利益累計額合計	4,621	3,322
新株予約権	568	560
非支配株主持分	462	391
純資産合計	111,271	116,282
負債純資産合計	179,573	175,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	120,323	111,422
売上原価	48,741	46,080
売上総利益	71,581	65,342
返品調整引当金繰入額	130	60
差引売上総利益	71,451	65,282
販売費及び一般管理費	59,592	52,889
営業利益	11,859	12,392
営業外収益		
受取利息	204	136
受取配当金	393	499
その他	196	335
営業外収益合計	794	972
営業外費用		
支払利息	131	99
持分法による投資損失	145	82
為替差損	-	61
その他	155	154
営業外費用合計	432	397
経常利益	12,222	12,966
特別利益		
投資有価証券売却益	71	220
特別利益合計	71	220
特別損失		
固定資産除却損	-	136
投資有価証券評価損	200	385
関係会社株式評価損	131	6
貸倒引当金繰入額	170	440
関係会社貸倒引当金繰入額	39	3
特別損失合計	541	970
税金等調整前四半期純利益	11,752	12,216
法人税等	3,954	3,798
四半期純利益	7,798	8,417
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,807	8,414

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	7,798	8,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	990
為替換算調整勘定	△924	△2,231
退職給付に係る調整額	63	128
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△261
その他の包括利益合計	△1,000	△1,373
四半期包括利益	6,797	7,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,833	7,114
非支配株主に係る四半期包括利益	△35	△70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	72,055	5,941	6,238	34,467	118,702	1,620	120,323	—	120,323
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,325	1,084	2	2,317	4,730	15	4,745	△4,745	—
計	73,380	7,025	6,241	36,785	123,432	1,636	125,068	△4,745	120,323
セグメント利益 又は損失(△)	7,688	△666	351	4,102	11,476	136	11,613	245	11,859

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額245百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	71,975	4,800	5,329	27,846	109,951	1,470	111,422	—	111,422
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,662	998	1	2,264	4,927	29	4,956	△4,956	—
計	73,637	5,799	5,330	30,110	114,878	1,500	116,378	△4,956	111,422
セグメント利益 又は損失(△)	8,087	△177	326	4,088	12,325	81	12,407	△15	12,392

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失(△)の調整額△15百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。